

2019年9月25日
イオンフィナンシャルサービス株式会社
株式会社イオン銀行

資産運用シミュレーション「ポートナビ」全店にて利用開始 ～投資信託、外貨預金を含む60パターン以上のポートフォリオからご提案～

イオンフィナンシャルサービス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:河原健次)の子会社である株式会社イオン銀行(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:新井直弘、以下、当行)は、2019年9月25日より全店にて資産運用シミュレーション「ポートナビ」を導入いたします。

当行はこれまで税制優遇が適用される NISA・つみたて NISA の運用商品の取り扱いや、長期的な資産形成の制度である iDeCo、さらに昨年 5 月より導入した外貨預金等を積極的にご案内することでお客さまの豊かな将来に向けた資産形成をサポートしてまいりました。

この度、当行は、新たにポートフォリオシミュレーションツール「ポートナビ」を導入し、より一層お客さまのご要望に寄り沿った資産形成サービスの充実を図ります。「ポートナビ」は三菱アセット・ブレインズ株式会社(本社:東京都港区、取締役社長:本岡真)と当行が共同開発したシミュレーションツールで、お客さまが希望される期待リターンでの運用シミュレーションや、お客さまが目標とするライフイベントをベースとした運用シミュレーションを、投資信託だけでなく外貨預金も含めた形で試算します。従来の資産運用サービスでは、お客さまのリスク許容度に合わせた数種類のモデルポートフォリオに限られました。「ポートナビ」では、お客さまの多種多様なニーズにお応えできるよう60パターンを超えるモデルポートフォリオをご用意しており、お客さまの資産運用に対するご意向に基づいて、最適なポートフォリオをご提案することが可能となります。

4月から一部店舗で先行導入しておりましたが、お客さまから「個別銘柄ではない分散投資提案がよかった」「イメージも湧いて、しっかり自分で選んで決めて購入できました」等の好評なご意見をいただき、平均購入銘柄数も約 1.5 件から約 2.2 件へ増加したことも踏まえ、分散投資の重要性をお伝えできる有効なツールだと確信し、この度の全店展開に至りました。

お客さまの資産をトータルで考えることができるようになることから、「イオン銀行お客さま本位の業務運営基本方針」のうち「お客さま基点のコンサルティング・情報提供」を実現する、一つの取り組みになると考えております。今後当行は、「ポートナビ」を活用し、セミナーの開催などを通じて、これから資産形成をお考えのお客さまに向けた取り組みを実施していく予定です。



※画像はイメージです

当行はこれからも、お客さまの視点に立った商品・サービスのご提供に努め、資産形成サービスのより一層の拡充に取り組んでまいります。